

うきは市民センターの屋根の状況について



最近、うきは市民センター(写真左)の屋根にサビが発生しているがとのお尋ねをいただいています。

うきは市民センターの屋根材(写真右)は、耐候性鋼という製品を使用しています。これは一般鋼材に比べ細かな錆が表面を覆うことで鋼材を守る特徴があり、塗装が不要でメンテナンス費用が軽減されます。

一方、外見は茶褐色のため誤解を招やすい面もあり、状況についてお知らせいたしました。

●問い合わせ 住環境建設課 TEL 75-4987

白菜漬け体験教室

冬の味覚の代表とも言える白菜の漬物を作り、伝統の味を伝えるため体験教室を行います。白菜は食物繊維が豊富な事でも知られており、便秘解消や風邪の予防、大腸がんの予防効果等があるともされています。

今回、「白菜漬け体験教室」をJA にじのご協力をいただき開催します。冬の食卓の一品に加えてみませんか。



■日 時 12月9日(土) 10時～お昼頃

※準備する物等、詳細は別途お知らせします。

※白菜は、1家族2個くらいを漬ける予定。

■場 所 耳納の里 2階研修室

■募 集 20家族

■締切り 11月30日(木)

■参加費 500円

●申込み 保健課食育・健康対策係 TEL 75-4960

☆☆☆シリーズ「うきはブランド推進隊の活動紹介」☆☆☆ 地域外の人材を招致して地域力を高める「地域おこし協力隊」の制度。「うきはブランド推進隊」として、現在10人がミッションに取り組んでいます。

うきは地域総合商社外販促進プランナー
平田 順子

うきはブランド推進隊に就任して早や半年が経ちました。うきはは地域総合商社のメンバーとして、フルーツ最盛期を迎える夏から秋にかけ、福岡や東京など様々な場所の特産物の販売やプロモーションを実施しています。9月はキャナルシティ博多で無印良品主催のイベント「Open MUKU」に出展しました。

今回は「フルーツ王国うきは」のプロモーションの一環として、市内で47種と言われる多品種を誇るぶどうにスポットをあて、「うきはのぶどう」と題した写真パネルなどの展示、マルシェ、ぶどう生産者の方を招いたトークイベントを実施しました。

参加いただいたお客さまからは、「普段話をする機会の少ない生産者から直接ぶどう作りや想いなどを聞けて良かった。ぶどうの味がさらにおいしく感じます!」との感想をいただきました。

生産者の方からも、消費者と直に接する貴重な機会となったとの声をいただき、双方にとって有意義な機会となったことを嬉しく思いました。

今後、市内で精力的に活動されている生産者と消費者をつなぐ取り組みを企画していきたいと思っています。



山村振興プランナー
錦織 大悟

長崎県波佐見町で行われた全国棚田サミットに、つづら棚田協議会、つづら棚田を守る会、うきは夢塾の方々と参加させていただきました。

棚田サミットには棚田のある全国の市町村の役所や地元の方が集まり、今後の棚田の在り方について意見交換の場などが設けられました。

波佐見町には鬼木棚田があり、つづら棚田に比べると耕作面積が広く、伸びやかな棚田でした。ちょうど「鬼木棚田祭り」が行われていて、180体もの案山子が棚田のそこかしこに立てられて、数と種類の多さで楽しませてくれました。

案山子は鬼木地区をはじめとした地域の方たちが作っているというところで、中には1人で十数体の案山子を作る方もおられるとのこと。

地域の方自身がお祭りを楽しんでいると感じるとともに、9月につづら棚田で行われた「彼岸花めぐり」と同じように、地域の方々の力があつてこそ、お祭りも盛り上がるのだなとあらためて感じました。

